

浄土平の四季

春

4月上旬に磐梯吾妻スカイラインが開通する頃、雪がまだ地面を覆っています。この時期に浄土平を訪れたなら、スノーシューやバックカントリースキーに加え、高さ最大3メートルにもものぼる雪だまりに挟まれたスカイラインのドライブを楽しむことができます。

5月には、広葉樹が芽を出し、花々が咲き始めます。この季節は、浄土平の湿原、桶沼、姥ヶ原の湿原周辺を、淡いピンクの花を咲かせるタカネザクラが彩ります。浄土平全体に鮮やかなピンクのツツジが咲き、6月には白い綿毛を付けたワタスゲの黄色い花が現れます。

夏

浄土平のほとんどの鮮やかな亜高山性植物は、初夏の雨季に花を咲かせます。雨季は、通常、6月中旬から7月下旬まで続き、この時期に咲く花にはピンクのイワカガミやツマトリソウ、原生のシャクナゲ（ネモトシャクナゲとハクサンシャクナゲ）、そして薄紫のミヤマリンドウなどがあります。雨季の終わりにから8月には、白い花びらのウメバチソウや黄色いネバリノギラン（*Alettris foliata* (Maxim.) Bureau et Franch）といった花々が咲きます。

雨季の終わり頃には気温が上がり、大気中の湿度がわずかに下がります。この時期は、低地にある多くの都市部に見られる温度や湿度の急上昇を逃れてここを訪れる人が少なくありません。この辺りは、平均気温にして、付近の都市部よりも約 10～15℃涼しくなっています。

夏の浄土平は天体観測に最適で、ペルセウス座流星群などの天文学的現象を目にすることができます。この一帯の光害は少なく、大抵は天の川を裸眼で確認できます。浄土平天文台では、5月から10月の毎週水曜・土曜に夜間に開館しています。日食・月食や流星群が見られる際には、特別行事が行われることもあります。

秋

浄土平周辺の山々の森におおわれた傾斜部は9月中旬に紅葉が始まり、湿原全体で秋の花々が咲き乱れます。9月には、この辺りに原生する紫の花びらを付けたエゾリンドウ（リンドウ科）や、鮮やかな黄色のミヤマアキノキリンソウ（キク科）が咲き誇ります。

10月は、磐梯吾妻スカイラインの紅葉真っ只中です。山腹が鮮やかな赤やオレンジや黄金色で溢れ、松やモミの木の深緑と見事なコントラストを見せてくれます。スカイライン沿いでは、つばくろ谷、天風境、そして天狗の庭が、紅葉で人気のビューポイントです。この時期から気温が大幅に下がるので、暖かい服装がおすすめです。

冬

浄土平の冬は静かな季節です。磐梯吾妻スカイラインは、雪や強風のため、11月中旬から4月上旬の間は閉鎖されています。オコジョ、野ウサギ、ホシガラスといった野鳥や動物たちが、浄土平一帯を独り占めにします。どの生物も、ここの厳しい冬を超すことができます。オコジョは野ネズミ、ウサギ、野鳥などで生き延びることができ、ホシガラスは蓄えてある松ぼっくりで生き抜くことができます。また、野ウサギは毛皮が茶色から白色に変わり、雪に隠れた食べ物をあさって生き延びます。